



# すずしろ 22 2026 総会特別号 No.243

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵みの象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

## 2026年度総会開催のご報告

2026年2月22日に「2026年度通常総会」を開催いたしました。会員数167名のうち、141名出席（議場出席者27名、議決権行使書93名、委任状21名）となり、過半数のため、本総会は成立いたしました。皆さまのご協力に心より御礼申し上げます。

なお、第1号・第2号議案は拍手多数により承認、第3～第5号議案は挙手により賛成多数をもって可決されました。

第2部は吉岡信一氏（2025年6月入会の農家会員）による講演会を実施しました。「なんで農家になりたいの？」というテーマでお話いただきました。新規就農者としての体験談でとても興味深い内容でした。

## Q & A 事前にご意見を頂いた物への回答

- 住所の一部が間違っていて同じ物が2通来た。  
⇒ 確認して訂正します。
- 案内をもう少し早く欲しい。  
⇒ 3月中に都に報告する義務があります。また、法人税の申告は2月末が期日となっており、それまでには決算が確定している必要があります(=総会で承認を受けている必要がある)。そのため、2月中～下旬に総会を開く必要があり、12月末で締めて集計し、議案書を作成するのにひと月はかかります。なのでどう早くしても総会の2週間前の発送になってしまいます。総会の日時は会場がとれる前から会報で告知しています。
- 「援農のしおり」を改めて読み、体調管理など大切な事が書かれている。再度呼びかけなど周知して欲しい。  
⇒ 季節に応じた注意喚起をこれからもホームページや会報にてしていきます。

ありがとう  
ございました



## Q & A 会場での質問と回答

- すずしろの援農時間は26,000時間となっているが、私ども（NPO法人たがやす）は14,000から15,000時間程度。会員数も同じ様なのにこんなに多い援農時間となっているのは何か工夫されているのか？  
⇒ 一回の援農時間の平均は3.5時間程度です。八王子の農家は各自でスーパーや道の駅などに直接持っていくなど手広くやっている農家もあり、そのような農家にかなりの人数が入っている為と思われます。
- 援農活動で新規農家会員2軒とあるがその経緯を知りたい。  
⇒ 一軒は小比企の農家で先輩農家から紹介されて入会しました。もう一軒の農家はたまたま通りかかって声かけをし入会されたが昨年度援農依頼はありませんでした。（訂正があります。もう一軒の農家は、料理教室ですずしろ22のことを聞き、近所の農家からもすずしろ22のことを聞いていたので、入会の申し込みをされました。）

## Q&A 会場での質問と回答(つづき)

- たがやすでは市民農園を区画年間3万円でやっているが、種代や諸経費は市民の方が負担しているのか？
  - ➔ たがやすさんの農園は体験農園かと思います。すずしろ22が運営している農園は体験農園ではなく市民農園として貸し出しているだけなので形式は違います。農機具等は無料で貸し出ししていますが、その他は個人負担です。
- 会報誌の継続発行とあるが会員の中にはネット環境のない人もいます。そのような人に対しての対応はどのようにしているのか？
  - ➔ インターネット環境のない人に対しては紙ベースの郵送は特に行っておらず、有効な対応も特にしていません。LINEの方が良いという人や会報はいらぬという人もいらっしゃいます。
- 農園返還に備えた原状回復引当金の82万円とあるが、こちらが負担する契約なのか？話し合いで何とかならないのか？
  - ➔ 今年の計画で撤去費用は50万円を見込んでいます。現状回復としてこちらが建てた農機具小屋などを撤去し整地をして返却しなければならず、50万円とあるが業者に依頼するかこちらでやるかで金額が変わってきます。今後検討していきたいと思います。
- 先ほどのネット環境のない人に対する会報のお知らせについて、援農窓口の担当者が農家に持って行きそこで援農に来ているネット環境のない人に渡すなど工夫してみたらどうか。
  - ➔ 昨年検討しましたが、援農窓口の負担を増やすのは原則として難しいです。
- 予算費の中の市民参加型農園運営事業について、種苗・肥料・水道代が102,000円となっているが農地保全活動計画案の⑤「農機具置場・休憩スペースについて防災対策を含めた観点から今後の維持管理等について検討を行っていく」とあるが、小比企の農機具置場には燃料なども置いてあり不特定多数の人が出入り出来る状態になっている。今後どのような感じで防災対策を行っていくのか教えてほしい。
  - ➔ 予算案の種苗・肥料・水道代が102,000円となっているが、ほぼすべてが常盤牧場から購入している堆肥の購入資金です。今後は燃料と刈り払い機の施錠に努めます。
- 援農の謝礼金支払いにその都度手数料が掛かると思うので2か月ごとにするとか経費削減に努めてはどうか？
  - ➔ 意見は承って、理事会で検討します。但し、事務担当として申し上げると、毎月の支払いを一か月貯めておく場合は事務处理的にも負担が大変で支払計算で間違った場合一か月ごとの処理の方が対応しやすいです。
- すずしろ22として今後市民農園を増やして行く計画・方針はあるか？
  - ➔ 農地を残したい思いは一緒です。援農に関しては皆さん生きがいを持ってやってくださっていますが、市民農園の運営に関しては人手不足です。人手が多ければ増やして行きたいと思いますが、まだそこまでは行っていません。長期計画はまだ立てていませんが検討していきたいと思っています。

